

New Education EXPO 開催 フューチャースクール体感

「未来の教育を考える」をメインテーマにした、教育関係者向けセミナー&展示会「NEW EDUCATION EXPO2012 東京」が、6月7日〜9日の3日間、東京有明のTFTビルにおいて開催された。

今年で17回目を迎える同展では、普及期を迎えたデジタル教科書が各教科書出版会社から紹介されていたほか、教育補助コンテンツのクラウドサービスやタブレット端末による授業サポートシステムのデモなどが行われていました。この他にも、学校向け消費材のカタログ通販「UCHIDA S」の最新号を売れ筋アイテムと共に紹介していました。



フューチャースクールのエリアでは、WiFi環境下でデジタル端末を活用したアクティブラーニングのデモを行っていたほか、学校向け節電ソリューションやセキュリティ提案、校務サービスの最新情報が提案されていました。この他にも、内田洋行が取り組んでいる国産材活用事例「紙肥杉プロジェクト」で開発された杉材活用の商品や家具などを展示していました。

■多彩なプロジェクターが一堂に黒板のすぐそばに設置できる短焦点型のプロジェクターを机の上に大きく投射してグルーブワークをする提案や、ボールペンのペン先も装着できるデジタルペンを使って画面に書くだけでなく出力した紙でも操作や記入ができるシステムなどを提案していました。



■キョクトウ・アソシエイツが「意味順ノート」「家庭学習ノート」を提案

子供達の英語の学習をサポートする「意味順」シリーズは、全国の160校で採用されるなど、すでに60万冊を超える実績を上げています。英文を書きやすくするノートだけでなく、黒板の授業で使えるマグネットも合わせて紹介。さらに、秋田県で高い実績を上げている「家庭学習ノート」は、子供の自主性や独自性を育てるノウハウを詰め込んだノートとして開発。学習の目的や反省、先生とのコミュニケーションなど、子供の成長に合わせた5アイテムを揃えています。

